

3月だから忘れない、3月だから寄り添う 「3.11」から2年 「息の長い支援」は神戸に聞こう!

日時：2013年 3月2日 (土)・9日 (土)・10日 (日)・
23日 (土)・24日 (日)・30日 (土)・31日 (日) 午後2時～5時

集合場所、時間：そごう神戸店前サンファーレ広場に、午後1時半にお越し下さい。
(2階山側入口前、ペDESTリアンデッキの時計があるところです。

阪神三宮すぐ、歩道橋でJR三ノ宮等と接続)

集合後、電車または徒歩で移動、復興住宅(神戸市営筒井住宅：中央区)をお訪ねします。

1回だけでも、初めてでも大歓迎です。

ご参加の際は、メール、メッセージ(Facebook・Mixi及びTwitter - welove_kobeから)、にて、
予めご連絡下されば幸いです。

天候によっては中止・変更させていただくこともあります。



神戸・週末ボランティアは、2013年、
サイト&コミュ管理人が主宰する新たな活動主体
「神戸・週末ボランティア 新生」のもと、
不定期ながらも、毎回ニーズや課題に即したテーマを設定する
新たな形態で、阪神淡路大震災の被災者に寄り添い、
共に歩んでいきたいと思ひます。

新聞でも紹介されています！ 産経新聞 神戸版 2010.11.28
若者にも被災者支援の輪 神戸市民グループ「週末ボランティア」

おかげさまで、1月のミッション

今こそ「1.17」を忘れない～「希望の灯り」とともに
を成功裡に実現することができました。ありがとうございました。

This is 神戸・週末ボランティア <http://kobevolunteer.web.fc2.com/>
(Yahoo! JAPAN 登録)

Facebook・Mixi・Twitter - welove_kobe、もよろしく!
メール：harayuan@gmail.com



3月は東日本大震災から2年になります。

東日本大震災を機に盛んに言われるようになった「**息の長い支援**」ですが、阪神淡路大震災の被災地・被災者が、18年以上を経過した中で、何より切実に経験していることにほかなりません。でもその前に想起すべきことがあります。

震災後10年、13年を経たあたりから忘却の彼方におかれることが多くなった、阪神淡路大震災の被災地・被災者ですが、こうした忘却の最初の発端は、震災が発生した1995年の3月20日に起こった地下鉄サリン事件でした。

それまで昼夜を問わず全国レベルで報道されていた震災が、一気に関西ローカルになり、それもやがて減っていきました。この時期の報道の落差は、関西と関東とで別の国かと思うほどで、それが被災地とそれ以外とでの「**温度差**」を生み出していきました。

3月に忘れず寄り添うこと自体に、大きな意義があると思います。

大切なことをもうひとつ。「**心のケア**」についてです。

阪神淡路大震災から、盛んにその必要性が認識されるようになった「心のケア」ですが、爾来十数年、その後起こった災害や事件への対応を経る中で、それに求められる方法も大きく変化してきました。

震災後間もない頃は、ただ寄り添いさえすればそれだけで「心のケア」になるとか、悲惨な体験をいち早く吐き出させるべきだといったような、稚拙なものや粗暴なものが横行していました。しかしその後、大きな変化を経て今日に至っています。東日本大震災後は、その変化はもはや決定的と言わねばならないでしょう。

もちろん、寄り添うことがその出発点であることは言うまでもありません。そこからいかにすべきか、改めて現場から、ともに考えてみましょう。

